Cabalの話

- Cabal の依存関係解決 -

日比野 啓

May 29, 2012

自己紹介

- twitter: @khibino
- 仕事: Java とか Haskell で プログラム書いてます
- 関数型言語とか プログラミング言語処理系とか好きです

Haskell のパッケージ

Hackage

- Haskell のパッケージを蓄積しているサイト
 - http://hackage.haskell.org/ packages/archive/pkg-list.html
 - パッケージの一覧
 - http://hackage.haskell.org/ package/PACKAGE_NAME
 - 個々のパッケージの情報

Cabal - install

% cabal install PACKAGE_NAME

- 必要となるパッケージが 全てインストールされる
- うまくいっているときは便利だが ...

Cabalの問題点 - 依存解決 - 1

 \mathbf{B} C >= 1... バージョンの制約付き依存関係 D >= 1パッケージの名前

Cabal の問題点 - 依存解決 - 2

 \mathbf{B}

$$C >= 1$$

 $D >= 1$

 \mathbf{A}

Cabal の問題点 - 依存解決 - 3

 \mathbf{B}

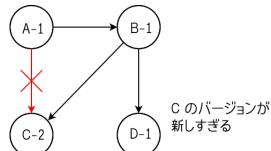
$$C >= 1$$

 $D >= 1$

 \mathbf{A}

$$B >= 1$$

$$C >= 1 \land C < 2$$



Cabalの問題点 - 依存解決 - 4

 \mathbf{B}

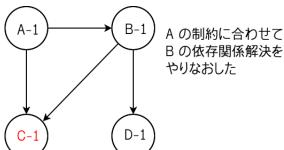
$$C >= 1$$

 $D >= 1$

 \mathbf{A}

$$B >= 1$$

$$C >= 1 \land C < 2$$



Cabalの問題点 - 依存解決 - 5

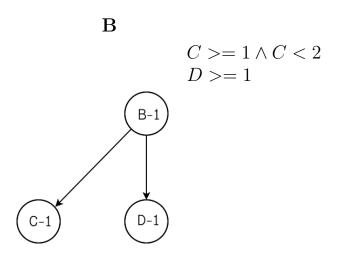
- 必要なバックトラックの回数が多くなりすぎる
 - 依存関係の段数
 - パッケージのバージョンの数
- Cabal はデフォルトでは途中で試行をやめる

Cabal - 依存解決 - 物量で解決

- cabal のバックトラック回数を明示的に指定
- デフォルトは 200

```
% cabal install [--dry-run] \setminus --max-backjumps=1000
```

Cabal の問題点 - 壊れる依存関係 - 1



Cabal の問題点 - 壊れる依存関係 - 2

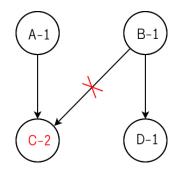
 \mathbf{B}

$$C >= 1 \land \frac{C}{C} < \frac{2}{2}$$

$$D >= 1$$

A

$$C >= 2$$



Cabalの問題点 - 壊れる依存関係 - 3

cabal に同時に与えれば、 両方を満たすように依存関係を解決してくれる % cabal install A-1 B-1 ... 過去にインストールしたもののうち壊れるものを 全て与える必要があり大変

Cabal - バージョンを指定する

```
個別にバージョンを指定しつつ
インストールすることもできる
```

```
\% cabal unpack A-1.0 \% cd A-1.0 \% cabal configure \% cabal build \% cabal copy \% cabal register
```

依存関係を自前で解決しなくてはならなくて面倒

Debian sid - 1

- Debian のパッケージシステムが 依存関係を壊さないように保ってくれる
- 475 個の hackage (2012-05-27 現在) のライブラリが
 Debian package 化されている
 - yesod や snap もあるよ
- haskell-platform が更新されない期間も、 相当するパッケージが提供される

Debian sid - 2

- Haskell 以外の依存関係も管理されている
 - Haskell 以外にも依存しているような 複合的な依存関係でも大丈夫
- 豊富なパッケージ (2012-05-27 現在、37526 個)

まとめ

- cabal は便利
- でも複雑な依存関係を 壊さないようにするのは大変
- Debian sid おすすめです

Q&A